

計画事業番号	00888	事務事業名	空き家流動化促進事業	担当部署	参事(まちづくり担当)	電話	3607
--------	-------	-------	------------	------	-------------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市空き家等解体補助金交付要綱				
事務事業開始年度	平成28年度	個別計画等	北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章)	にぎわい・活力のあるまち
	(第 1 節)	地方創生の推進
	(施策 3 )	魅力的なまちの形成
2 対象	市内に所在する空き家の所有者	
3 目的と内容	空き家の解体やリフォームを支援し、空き家及び土地の流動化を促進する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	空き家の解体費用への補助を実施。 1件あたり50万円を上限に、予定件数の10件に対して補助金を交付した。
	29年度	昨年度と同様に、空き家の解体費用への補助を実施。 なお、1件あたりの上限は30万円に変更し、予定件数は30件としている。

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
解体補助の実施制度の周知	解体補助の実施(10件)制度の周知	解体補助の実施	解体・リフォーム補助の実施	解体・リフォーム補助の実施

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	—	平成28年度からの新規事業	
1次評価	統合	平成30年度から「住宅リフォーム支援事業」(商工業振興課)を統合する。	
2次評価	統合	経済的効果や各種住宅施策との関係を考慮のうえ統合をすること。	

「拡大」  
「現状継続」  
「要検討」  
「見直し」  
「統合」  
「休止・廃止」  
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			4,790		9,005		31,355		31,355	
事業額	直接事業費	国支出金	2,395		4,502		16,355		16,355	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,395		4,503		15,000		15,000	
	① 合計	4,790		9,005		31,355		31,355		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	900	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			6,470		11,585		33,035		33,035	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①補助金の交付件数	件	10	30	-	-
		目標値				
		実績値	10			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	① 解体後の土地の活用件数	件	10	30	-	-
	【指標の定義(算式等)】		9			
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市の重要課題である定住人口の増加に向けた取り組みであり、行政が関与することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	解体後の土地に新たに住宅が建設されるなど、土地の流動化による定住効果が得られており、事業の成果はあがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	リフォーム事業との統合により、土地だけではなく空き家自体も併せて流動化を図り、一層の定住効果が得られるよう検討を進める。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	本事業が、空き家解体の動機づけとなり、土地の流動化、住宅建設需要の喚起、定住促進につながっていることから、経済性は確保されている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---